

図書館ボランティア通信

調布市立図書館

三鷹市立南部図書館に行ってきました！！

平成26年10月8日（水）、第2回ボランティアミーティングを行いました。今回は三鷹市立南部図書館（通称 みんなみ図書館）にお邪魔しました。

この図書館は昨年の11月に開館しました。開館前から、「みんなみサポーター」と呼ばれる

ボランティアさんと協力して準備を行ってきた図書館です。本棚は新館ということで少し余裕があり、今後どんな本がこの本棚を埋めていくのか考えただけでもわくわくしてくる図書館でした。



←図書館の外観。
昨年完成したばかりの建物は、とてもきれいでした。

館内の随所に「みんなみサポーター」の活動の成果がみられます。

みんなみ図書館には、全部で4つの活動グループがあります。施設内の装飾を行う「装飾グループ」、テラスなど敷地内のガーデニングを行う「ガーデニンググループ」、おはなし会などを行う「子ども向けイベントグループ」、書架整理や本の修理を行う「みんなみお助け隊」です。

テラスの利用者に食べてもらえるようクッキーを焼いてきてくださるなど、図書館に愛着を持つサポーターも多いようです。



ノ図書館の西側にあるテラス。緑がいっぱいです。昼食をわざわざここに食べに来る方も多いとのこと。

←児童書架のスペースには、たくさんの飾りがあり、木製の本棚と相まって、あたたかい雰囲気があります。

珍しい本がたくさん！ アジア・アフリカ図書館

アジア・アフリカ文化財団が運営するアジア・アフリカ図書館も、見学しました。

この図書館は、みんなみ図書館に併設され、アジア・アフリカ関係の資料を重点的に収集している専門図書館です。

今の図書館に至る経緯などを説明いただき、貴重な資料を実際に手に取ることができました。

三鷹市立図書館とも連携をしていて、みんなみ図書館^{かくまつじやく}に郭沫若に関する資料を貸出しています。図書館ではそれらの資料を展示していて、展示コーナーは博物館のようです。



／アジア・アフリカ図書館の展示コーナー
←みんなみ図書館^{かくまつじやく}の郭沫若の展示コーナー



かくまつじやく 郭沫若とは…？

中国の文学者、歴史学者、政治家。

1923年に九州大学医学部を卒業。その後、日本と中国で文学や政治分野で様々な活動を行いました。75年には、全国人民代表大会で常務委員会副委員長に就任しました。

明るくあたたかみのある館内

↓館内は木製の家具で統一されていました。外からは陽も差し込み、木の香りやぬくもりが十分に伝わってきます。



今回みんなみ図書館の説明をしてくださった田中博文館長。計画の段階から市民と一緒に図書館をつくっていく方針だったとのこと。



←みんなみ図書館のマスコット「なんとくん」。このイラストも地域のデザイナーが無償で描いてくれたものです。

ご参加いただいた図書館ボランティアのみなさま、ありがとうございました。次回の図書館ボランティアミーティングは、来年2月を予定しております。